

第44期 報告書

自 平成23年2月1日 至 平成24年1月31日

Shape your future

ITエンジニアリングで未来をつくる



Shape your future

ITエンジニアリングで未来をつくる

経営理念 > ITエキスパート集団として成長を続け、顧客・社会に貢献します

CONTENTS

- 2 株主の皆様へ
- 3 トピックス
- 5 事業の概況
- 6 財務ハイライト（連結）
連結財務諸表（要約）
- 7 連結貸借対照表／連結損益計算書／
連結キャッシュ・フロー計算書／連結株主資本等変動計算書
- 9 第44期の主な活動
- 10 会社の概要／株式の状況

株主アンケートへのご協力をお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施しています。

本書裏表紙にアンケートサイトへのアクセス方法が記載されております。ご協力よろしくお願いたします。

この冊子においては、将来の見通しに関する記述が様々な表現でなされています。その見通しは社会の変化や不確実性に左右され、実際の結果が異なることも考えられます。これらの将来に関する記述に過度に依存なさらないようお願いいたします。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、第44期（平成23年2月1日から平成24年1月31日まで）の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当連結会計年度におきまして、当社グループは構造改革期の2年目として、とりわけソフトウェア受託開発における収益構造の転換やサービス事業への移行に注力してまいりました。

具体的には、プロベック事業（第三者検証サービス）を次世代主力事業に育て上げるべく、人的資産を集中させ、国内および中国・北京市にAndroid検証センターを開設し、他社に先駆けてスマートフォン分野への対応を開始いたしました。

さらには、高収益ビジネスモデルの構築を目指してシステム受託開発で培った技術とノウハウを、新たにプロセス事業（ソリューションサービス）の一部に組み入れ、自社製品の開発・販売を開始し、ネット関連事業にも参入するなど、新規事業にも着手いたしました。

しかしながら、主要顧客である自動車・電機メーカーにおきましては、東日本大震災や歴史的円高、タイの洪水災害などの影響により、内製化・オフショア化の動きを強める状況下において、当社グループも、このような動きに対処すべく様々な施策を展開いたしました。全体の業績を引き上げるまでには至りませんでした。

また、前連結会計年度より取り組んでおります大型開発案件の採算状況が当初予定より悪化したため、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は405億1千3

百万円、前期比3億7千3百万円（0.9%）の減、営業利益は8億4千1百万円、前期比3億6千8百万円（30.4%）の減、経常利益は7億3千4百万円、前期比5億8千2百万円（44.2%）の減となりました。これらの結果を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、15億7百万円を法人税等調整額へ計上し、当期純損失は13億円（前期は3億6千1百万円の利益）となりました。

なお、期末配当につきましては、株主の皆様への安定的な配当の継続を考慮いたしまして、1株につき10円（中間配当を含めた年間配当は20円）とさせていただきます。

今後につきましては、加速度的に変化する顧客ニーズへの対応と、より高品質なサービスの実現を目指し、自社製品の販促活動とネット関連事業の拡大、グループ会社の再編によるビジネス構造の見直しを推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長

岩崎 宏達



代表取締役社長

柏木 茂

TOPICS

1

スマートフォンの業務活用に向け 新たにセキュリティマネジメントサービスを開始

スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、仕事上でもこれらを利用したいという要望が強まり、会社業務への導入を検討する企業が増えています。当社のAndroid検証センターでは、このような企業ニーズに答えて、2011年11月より、企業が安心してスマートフォンやタブレット端末を活用するための「セキュリティマネジメントサービス」を開始いたしました。

本サービスでは、携帯電話メーカーや通信事業者、アプリケーションベンダー向けに、端末の脆弱性や通信時の安全性を検証するサービスなど、携帯電話の検証事業で培った豊富なノウハウを利用した高品質なサービスを提供いたします。

また、盗難や紛失といった緊急時に、端末をロックして情報漏えいを防ぐサービスや、ダウンロード用のアプリケーションをサーバ上で一括して検証するサービスなど、業務システムを運用する上で必要となる新メニューも追加いたしました。今後もスマートフォンやタブレット端末の使い勝手の良さを活かしつつ、安全にそして安心して利用できるような様々なサービスを提供してまいります。



〈5つのセキュリティマネジメントサービス〉

| | |
|-------------------------------|--|
| Android端末管理サービス | 紛失時のAndroid端末ロックやデータ削除、カメラ、通信など、外部デバイスとの連携機能の制限サービスを提供 |
| Androidアプリ一括セキュリティチェックサービス | サーバにアップロードされたアプリケーションから、スパイウェアやマルウェア等を一括して検出するサービスを提供 |
| Androidアプリ脆弱性チェックサービス | アプリケーションが内包するソフトウェアの脆弱性を検出するサービスを提供 |
| Androidプラットフォームセキュリティチェックサービス | Android端末の通信セキュリティを、ファジングデータで診断するサービスを提供 |
| Androidアプリクラッキング対策サービス | アプリケーションに内包するソフトウェアの脆弱性検出と、ソフトウェアをパッキングすることでクラッキングを防止するサービスを提供 |

TOPICS

2

クラウドで協業推進、 オンラインストレージサービスのWebhard™を提供開始

2011年11月、当社はクラウド事業分野において韓国企業のLG Uplus Corp.と業務提携いたしました。本提携の第一弾として、2012年3月より、当社の保有するデータセンターと大容量の回線を活用して業務の効率化を推進するオンラインストレージサービス「Webhard™（ウェブハード）」の提供を開始いたしました。

Webhard™はクラウド（インターネット）上にあるストレージ（記憶領域）を利用して、企業間や部署間、プロジェクトのメンバー間で、いつでもどこでも、安

心・安全・便利に電子ファイルの受渡しを行い、情報共有や共同作業を支援するサービスです。画像や動画など大容量ファイルの受渡しや機密情報の安全な受渡し、1つのファイルを複数のメンバーが協力して編集する場合など、時間や地理的条件、安全性に制限されずに業務を進めることができます。



◀ <http://www.webhard.jp/>

TOPICS

3

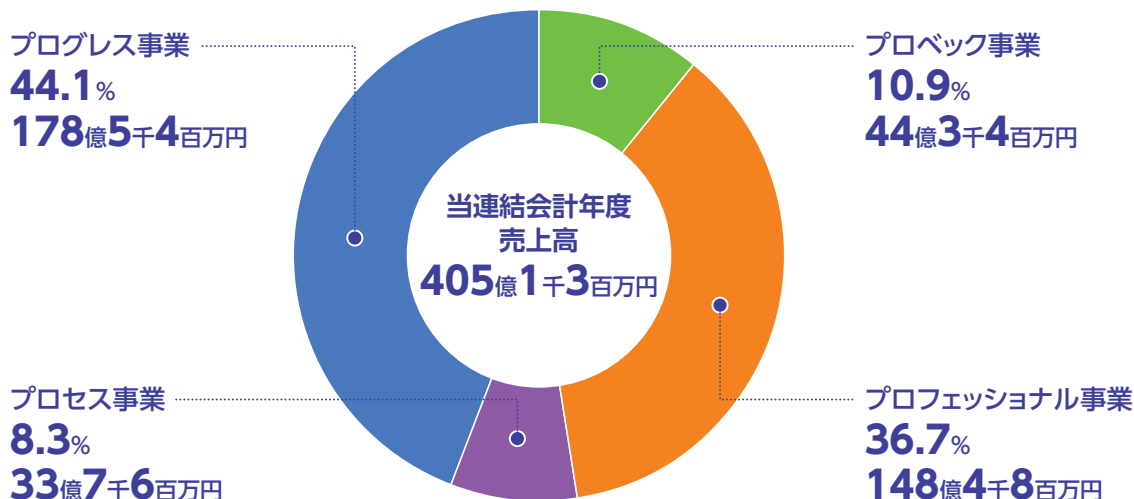
2012年2月1日よりコンテンツビジネスに本格参入

当社は、2010年度よりインターネットを活用したビジネスの一環として、スマートフォンやタブレット端末向けに、電子書籍の提供や電子カタログの制作・配信・管理を行うサービスを提供してまいりました。このほど、シーイーシークロスメディア株式会社にて、当事業分野に本格参入いたしました。同社では、スマートフォンやタブレット端末の優れた操作性・利便性を引き出す、新たなメディアミックス（画像、動画、音

声、テキストの混在した）ソリューションとコンテンツを提供し、個人や企業が様々な情報を発信し、交流できるコミュニティインフラを構築してまいります。



◀ <http://www.ccmedia.jp/>



プロベック事業

事業内容 第三者による検証、認証、評価等の品質マネジメントに関連するサービス

プロベック事業は、スマートフォンへの移行が進む携帯電話市場に対応すべくAndroid検証センターを開発するなど検証事業の拡大に注力してまいりましたが、国内メーカーの経営環境が大幅に悪化したことにより、売上高は44億3千4百万円、前期比9千8百万円（2.2%）の減となりました。損益面では海外展開による費用増加や顧客からの値下げ要請等の影響により、営業利益は3億3千5百万円となり、前期比2億9千5百万円の減となりました。

プロフェッショナル事業

事業内容 IT基盤の構築、運用、保守等のライフサイクルマネジメントに関連するサービス

プロフェッショナル事業は、データセンターサービス関連の売上が寄与し、売上高は148億4千8百万円、前期比7億7千1百万円（5.5%）の増となったものの、設備投資費用の増加等により、営業利益は4億7千9百万円となり、前期比3億3千3百万円の減となりました。

プロセス事業

事業内容 医療、生産物流、環境等、特定分野に専門特化したソリューションを提供するサービス

プロセス事業は、「RaLC®」（ラルク）シリーズなど、自社製品の販売活動を強化したことにより、売上高は33億7千6百万円、前期比11億2千1百万円（49.7%）の増となりました。しかしながら、大型開発案件の受注損失を計上した結果、10億7千5百万円の営業損失となりました。

プログレス事業

事業内容 業務ノウハウ、高度技術を核としたソフトウェア開発サービス

プログレス事業は、第1四半期に取り組んだ構造改革に伴い、構成人員、事業の一部を移管したことに加え、主要顧客のIT投資抑制の影響により、売上高は178億5千4百万円、前期比21億6千7百万円（10.8%）の減となりました。一方、損益面ではプロジェクト管理の徹底や生産性向上に向けた取り組みの成果により、営業利益は11億8百万円、前期比7百万円の増となりました。

売上高

40,513百万円

(前期比0.9%減)

経常利益

734百万円

(前期比44.2%減)

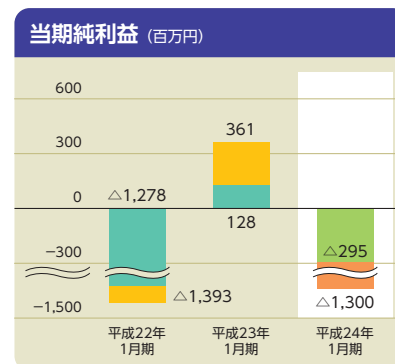
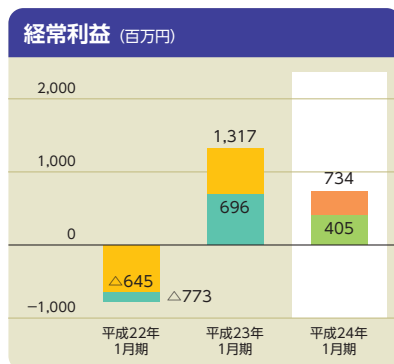
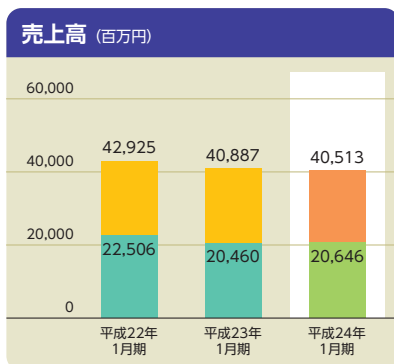
当期純利益

△1,300百万円

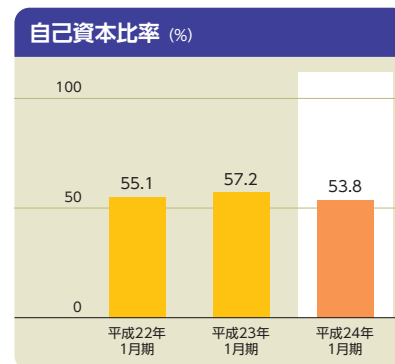
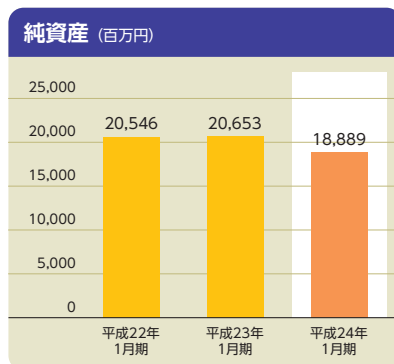
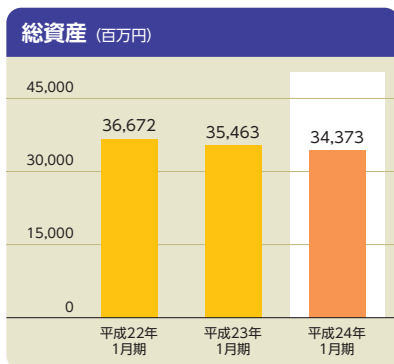
(前期は361百万円の利益)

※繰延税金資産の取崩しを行い、15億7百万円を法人税等調整額に計上しております。

■ 第2四半期累計 ■ 通期



■ 通期



連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

(単位：千円)

| 科目 | 期 | 当連結会計年度 (平成24年1月31日現在) | 前連結会計年度 (平成23年1月31日現在) |
|--------------|---|---------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | | 14,277,617 | 14,316,522 |
| 固定資産 | | 20,095,864 | 21,146,657 |
| 有形固定資産 | | 16,746,704 | 16,481,190 |
| 無形固定資産 | | 654,323 | 815,680 |
| 投資その他の資産 | | 2,694,836 | 3,849,786 |
| 資産合計 | | 34,373,481 | 35,463,179 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | | 5,413,749 | 5,327,264 |
| 固定負債 | | 10,070,093 | 9,482,275 |
| 負債合計 | | 15,483,843 | 14,809,539 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | | 18,649,598 | 20,298,268 |
| 資本金 | | 6,586,000 | 6,586,000 |
| 資本剰余金 | | 6,415,030 | 6,415,030 |
| 利益剰余金 | | 7,397,538 | 9,046,207 |
| 自己株式 | | △ 1,748,969 | △ 1,748,969 |
| その他の包括利益累計額 | | △ 171,385 | △ 24,944 |
| 少数株主持分 | | 411,425 | 380,316 |
| 純資産合計 | | 18,889,638 | 20,653,640 |
| 負債純資産合計 | | 34,373,481 | 35,463,179 |

連結損益計算書

(単位：千円)

| 科目 | 期 | 当連結会計年度 (平成23年2月1日から 平成24年1月31日まで) | 前連結会計年度 (平成22年2月1日から 平成23年1月31日まで) |
|-------------------|---|--|--|
| 売上高 | | 40,513,818 | 40,887,774 |
| 売上原価 | | 33,470,712 | 33,482,576 |
| 売上総利益 | | 7,043,105 | 7,405,198 |
| 販売費及び一般管理費 | | 6,201,497 | 6,195,171 |
| 営業利益 | | 841,608 | 1,210,026 |
| 営業外収益 | | 243,788 | 440,931 |
| 営業外費用 | | 350,810 | 333,395 |
| 経常利益 | | 734,585 | 1,317,563 |
| 特別利益 | | 17,263 | 302,581 |
| 特別損失 | | 355,204 | 408,858 |
| 税金等調整前当期純利益 | | 396,643 | 1,211,286 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 151,345 | 104,830 |
| 法人税等調整額 | | 1,507,463 | 721,477 |
| 少数株主損益調整前当期純損失(△) | | △ 1,262,165 | — |
| 少数株主利益 | | 37,917 | 23,467 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | | △ 1,300,083 | 361,510 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 科目 | 期 | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 |
|------------------|---|-------------------------------|-------------------------------|
| | | (平成23年2月1日から 平成24年1月31日まで) | (平成22年2月1日から 平成23年1月31日まで) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 2,135,221 | 2,209,756 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △ 523,558 | △ 1,107,477 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △ 1,148,805 | △ 680,285 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | △ 4,285 | △ 576 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | | 458,571 | 421,416 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 3,629,112 | 3,207,695 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | | 4,087,683 | 3,629,112 |

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成23年2月1日から平成24年1月31日まで）

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | 株主資本 合計 | その他の包括利益累計額 | | | 少数株主 持分 | 純資産合計 |
|--------------------------------|-----------|-----------|-------------|-------------|-------------|----------------------|--------------|-----------------------|------------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | | その他 有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 平成23年1月31日残高 | 6,586,000 | 6,415,030 | 9,046,207 | △ 1,748,969 | 20,298,268 | △ 18,038 | △ 6,905 | △ 24,944 | 380,316 | 20,653,640 |
| 当連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 348,585 | | △ 348,585 | | | | - | △ 348,585 |
| 当期純損失 | | | △ 1,300,083 | | △ 1,300,083 | | | | - | △ 1,300,083 |
| 株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の変動額（純額） | | | | | - | △ 142,082 | △ 4,358 | △ 146,441 | 31,108 | △ 115,332 |
| 当連結会計年度中の変動額合計 | - | - | △ 1,648,669 | - | △ 1,648,669 | △ 142,082 | △ 4,358 | △ 146,441 | 31,108 | △ 1,764,002 |
| 平成24年1月31日残高 | 6,586,000 | 6,415,030 | 7,397,538 | △ 1,748,969 | 18,649,598 | △ 160,121 | △ 11,264 | △ 171,385 | 411,425 | 18,889,638 |

2011

4月

- ・日通総研とRaLC®を活用した物流改革ソリューションサービス事業で業務提携
- ・Android検証センターを川崎市に開設

5月

- ・化審法 届出支援業務パッケージ「Chemilance™ (ケミランス) 化審法」の提供開始
- ・シーイーシーソリューションズ、日本スマートフォンセキュリティフォーラム (JSSEC) に幹事会社として参加

6月

- ・Android検証センターを中国・北京市に開設
- ・東京第二データセンターが「第5回 ASP・SaaS・クラウドアワード2011」でASPIC会長特別賞を受賞 ▶▶▶



7月

- ・iPhone、iPad向けに韓流ドラマアプリ「ドリームハイ」の提供開始 ▶▶▶

8月

- ・クレジットカードの情報セキュリティに関する国際基準「PCI DSS」の認定取得支援サービスを提供開始
- ・Android専用の検証ツール3種を提供開始
- ・シーイーシーソリューションズ、セキュリティプロダクト販売事業の新ブランド「eSECTOR® (イーセクター)」発表



9月

- ・SaaS型企業向けセキュリティサービス「BizVision® Endpoint Security」の提供開始

10月

- ・高信頼IaaS「BizVision® PLUS クラウド-i/クラウド-i Pro」の提供開始 ▶▶



11月

- ・Android端末向けにセキュリティマネジメントサービスを開始
- ・韓国の大手通信事業者LG Uplusとクラウド事業分野で業務提携

12月

- ・日本ティーマックスソフトと代理店契約を締結し、オラクル互換のデータベース提供開始
- ・iPhone、iPad向けに韓流ドラマアプリ「美男<イケメン>ですね」の提供開始

2012

1月

- ・iPad向けにメディアミックス型電子カタログの制作および配信サービス開始

2月

- ・シーイーシークロスメディアがサービスを開始

会社の概要 (平成24年1月31日現在)

商号 株式会社 **シーイーシー**
Computer Engineering & Consulting, Ltd.

設立 昭和43年2月24日

資本金 65億8千6百万円

従業員数 2,593名 (連結) / 1,802名 (単体)

主なグループ会社 (平成24年4月18日現在)

| 社名 | 資本金 (百万円) | 出資比率 (%) | 事業内容 |
|--------------------|-----------|----------|------------------------|
| 連結対象子会社 | | | |
| フォーサイトシステム株式会社 | 250 | 83.2 | ソフトウェア開発 |
| シーイーシークロスメディア株式会社 | 100 | 100.0 | ネットビジネス事業 |
| 株式会社イーセクター | 100 | 100.0 | パッケージ販売 |
| 西テレ情報サイエンス株式会社 | 90 | 75.0 | ソフトウェア開発 |
| 株式会社シーイーシーカスタマサービス | 50 | 100.0 | ITサービス事業 |
| 大分シーイーシー株式会社 | 30 | 100.0 | ソフトウェア開発 |
| 株式会社宮崎太陽農園 | 10 | 49.0 | ITを活用した農畜産物の生産・販売 |
| シーイーシー(杭州)科技有限公司 | 120 | 91.7 | ソフトウェア開発 |
| 持分法適用会社 | | | |
| コニカミノルタビズコム株式会社 | 300 | 34.0 | 情報機器に関連したITソリューションサービス |

株式の状況 (平成24年1月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株

発行済株式総数 18,800,000株

株主数 4,841名

大株主

| 株主名 | 持株数 (株) | 持株比率 (%) |
|------------------------------|-----------|----------|
| 1 ミツイワ株式会社 | 2,223,600 | 12.76 |
| 2 富士通株式会社 | 1,680,000 | 9.64 |
| 3 シーイーシー従業員持株会 | 931,800 | 5.34 |
| 4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 868,300 | 4.98 |
| 5 岩崎宏達 | 563,200 | 3.23 |
| 6 日本フォーサイト電子株式会社 | 465,480 | 2.67 |
| 7 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 304,000 | 1.74 |
| 8 日本生命保険相互会社 | 266,800 | 1.53 |
| 9 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 202,000 | 1.15 |
| 10 第一生命保険株式会社 | 200,000 | 1.14 |

(注) 持株比率は、自己株式 (1,370,702株) を控除して計算しております。

役員および執行役員 (平成24年4月18日現在)

役員

| | |
|----------------|--------|
| 代表取締役会長 | 岩崎 宏達 |
| 代表取締役社長 | 柏木 茂 |
| 常務取締役 (常務執行役員) | 橋村 清海 |
| 常務取締役 (常務執行役員) | 田原 富士夫 |
| 常務取締役 (常務執行役員) | 長田 一裕 |
| 取締役 (執行役員) | 千葉 信和 |
| 取締役相談役 | 新野 和幸 |
| 常勤監査役 | 小田 恭裕 |
| 監査役 | 長濱 毅真 |
| 監査役 | 中山 眞 |

執行役員

| | |
|------|--------|
| 執行役員 | 木根 博治 |
| 執行役員 | 片山 仁豊 |
| 執行役員 | 服部 豊 |
| 執行役員 | 長谷川 浩三 |
| 執行役員 | 河野 十四郎 |
| 執行役員 | 刀根 利光 |
| 執行役員 | 立石 博 |
| 執行役員 | 大石 仁史 |

株主メモ

| | | | |
|---------------------|--|---|--|
| 事業年度 | 2月1日～翌年1月31日 | 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード9692) |
| 期末配当金 受領株主確定日 | 1月31日 | 公告方法 | 電子公告 公告掲載URL http://www.cec-ltd.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |
| 中間配当金 受領株主確定日 | 7月31日 | (ご注意) | |
| 定時株主総会 | 毎年4月 | 1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 | |
| 株主名簿管理人 特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。 | |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料) | 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。 | |

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄冊 (図書カード500円) を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9692

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com



〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南一丁目5番5号 JR恵比寿ビル
TEL.03-5789-2441 (代表)

記載の会社名および商品名等は、一般に各社の商標、または登録商標です。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

